

【大学生等部門】優秀賞

未来のあなたへ

東群馬看護専門学校 1年 星野 はる加

十年後、十四歳になったあなたは何をして何を悩み何を夢見ているのだろうか。私はあなたに凜とした母親としての姿を見せてあげられているのだろうか。

十四歳の冬、私はあなたを出産した。相手の人とは上手くいかず私はシングルマザーになった。あなたを一人でもしっかり育てていきたい。私は高校入学を決意した。定時制の昼間に三年間通い卒業。今年の四月から看護学校に通い始めた。高校三年間では生徒会に所属したり、作文の大会に出場したり、検定を受けたり、アルバイトをしたりと様々なことに挑戦した。子育てをしながらの高校生活は簡単なことではなかった。私が周りから何を言われても這いつくばってでも学校に足を運んだのはどんな時でも諦めることなく挑戦する姿を小さなあなたに見ていて欲しかったから。

十年後あなたと私は小さなアパートで一人で時々喧嘩をしながらも仲良く楽しく暮らしているのだろう。中学生のあなたは勉強に部活と忙しく私は看護師としてバリバリ働いているんだと思う。もしかするとあなたには彼女がいるのかな。思春期のあなたは母親の私のことを鬱陶しく思っているかも知れない。そんな十年後に出逢う未来のあなたに届けたい思いがある。一つ、相手の気持ちを考えること。二つ、自分に自信を持って堂々としていくこと。三つ、謙虚な気持ちを忘れないこと。四つ、どんな状況でも決して諦めずに挑戦し続けること。最後にもう一つ「私にとってあなたはかけがえのない宝物だということ。」